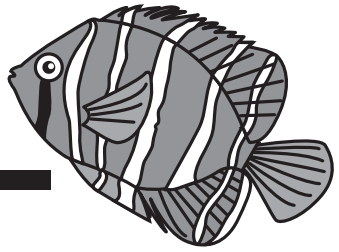
取扱い説明書

ウォーターストッパー
（自給タンク用）



この度はマーフィードウォーターストッパー（自給タンク用）をお買い上げ頂きまして誠に有り難うございました。この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後は、後日お役に立つこともございますので大切に保管して下さい。*30～80psiの水圧が必要です。

製 品 概 要

マーフィード　ウォーターストッパー（自給タンク用）はRO浄水器に接続する事で満水を感知して、供給水を閉じていきます。
必ず、別売の自動給水タンクと併用して下さい。
この取扱い説明書は自給タンクキットと併用した際の内容です。

安全のため必ずお守りください

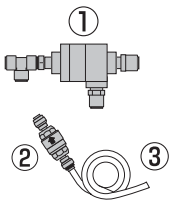
ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。誤った使い方によって生じる危害や損害の大きさを区分によって表しています。

＜使用上の注意＞

- 観賞魚用以外には使用しないで下さい。
- サンプ槽等フロートを取り付ける場所には必ずオーバーフローラインを設ける。
- 浄水器との接続はタンクの貯水時だけ接続する。
- お客様の不備による水漏れ等損害の補償は一切致しません。あらかじめご了承ください。
- 加圧ポンプとの併用はできません。
- *30～80psiの水圧が必要です。

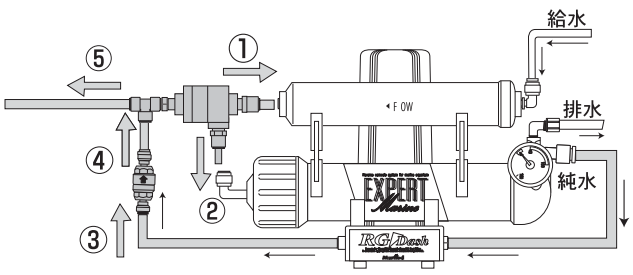
＜構成パーツ＞

① 本体
② JGチェックバルブ
③ ハードチューブ



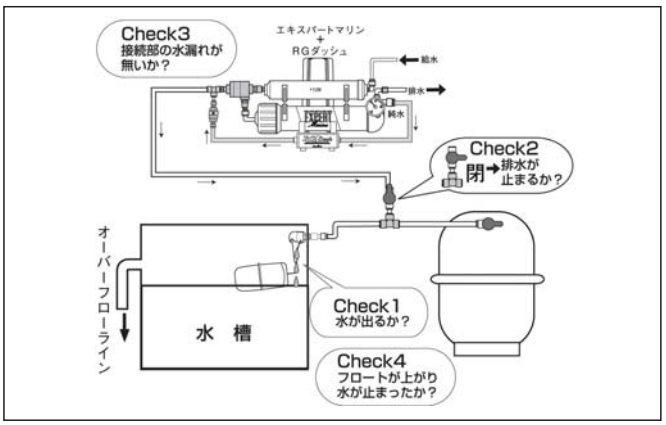
接続方法

① セディカーボン出口とウォーターストッパー本体を接続します。
② 次に本体とメンブレンを接続します。
③ 生産された純水を逆止弁と接続します。（方向性に注意）
④ 逆止弁と本体のT型パーツの一方をつなぎます。
⑤ 最後にT型パーツの空いている一方と別売の自給タンクキットのバルブとをチューブで接続すれば終了です。



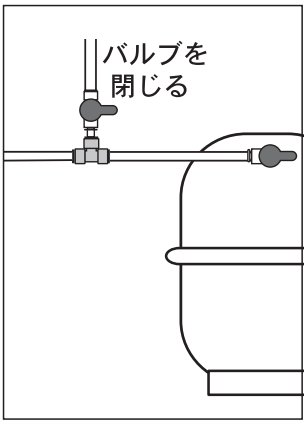
各部のチェックをしながら純水を貯める

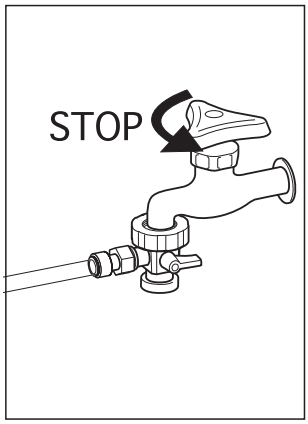
① 蛇口を開き、生産水がフロート部から出てくるか確認する。
② 純水のバルブを閉じて排水が止まるかを確認する。
③ 排水が止まったら接続部からの水漏れが無いか確認する。
④ 水位が高くなった際にしっかりフロートが効くかを確認する。



純水が貯まったら

① 純水がタンクに貯まったら、純水ラインのバルブを閉じます。
② 次に蛇口を閉じて、浄水器への給水を止めます。
③ バルブからホースを完全にはずす必要はありませんが、必ず上記の止水作業は確実に行って下さい。
④ 定期的に給水するようにして下さい。





タンクが軽く半分程度しか水が貯まらない場合は、純水の圧力が低いと思われます。タンク下部の空気注入口中央のピンを押して空気圧を少しずつ落とし、貯水量を増やして下さい。空気圧を抜き過ぎた場合でも自転車用（米式対応）空気入れで加圧できます。

Marfied